



レッドシャイン

濱野京子作 講談社

手先は器用で勉強もできるが、特にやりたいことが見つからない「器用貧乏」な高等専門学校三年生の怜。エネルギー研究会に勧誘され、ソーラーカーの整備を手伝うことになった。大湊村でのレースに向けて奮闘する个性的な部員たちに囲まれ、怜は次第にレースにのめりこんでいく。

レース当日、先輩がダウンしたため、急遽ドライバーに指名された怜。迷っている暇はなかった。自分が行かなければ、チームは負けてしまうのだ。熱い思いを乗せて、レッドシャイン号がいま、走り出す。

